

災害委員会2013年度市民企画講座・支部企画活動報告

長崎・災害フォーラムー斜面市街地の自然災害と都市・建築の備え

九州支部 災害委員会（高山峯夫・福岡大学）

東日本大震災をはじめとし、頻発する自然災害は、国民の災害に対する関心を否応なしに高めてきている。さらに、その自然災害に対抗する力としての「地域防災力」の向上は、国家的な課題として掲げられ、そのための様々な取り組みが全国各地で行われている。

一般社団法人日本建築学会九州支部では、自然災害に関する正しい知識の普及と、効果的な災害対策の促進を目的として、九州内の主要都市（佐賀市・2008、熊本市・2009、大分市・2010、那覇市・2011、鹿児島市・2012）で市民や地方公共団体職員等を対象とした災害フォーラムを開催してきた。これまでに開催した災害フォーラムでは、地震災害と強風災害をテーマとして同時に取り上げ、九州・沖縄地方の地域特性に根差した討論を展開してきた。

今回の災害フォーラムでは、長崎大水害という歴史的な都市災害を経験した長崎市で、近年の自然災害の教訓を踏まえ、九州支部長崎支所との連携を通じて、長崎市を中心とした地域の自然災害発生可能性と、それらに対する都市・建築の備え、長崎市の特徴的な市街地である斜面市街地の防災まちづくりについて解説を行うこととしている。また、「防災まちづくり」を専門とする講師を招き、総合的な視点からの地方都市の災害対策のあり方について討論を行った。本フォーラムには一般市民の他、長崎市役所などから30名の参加があった。本フォーラムでは、「斜面市街地における防災まちづくり」、「長崎地域での強風災害と斜面市街地での備え」、「長崎地域での強雨災害と都市・建築の備え」、「斜面市街地の火災危険度と防災対策」、「長崎市の防災・減災への取り組み」の5題の講演が行われ、最後に会場との意見交換を含め、総合討論を行った。

最後に、本フォーラム開催のご支援を戴いた、本会本部災害委員会に厚くお礼申し上げます。



高山委員長開会挨拶



前田九大教授講演



村田長崎総合科学大学教授講演



高橋長崎大学名誉教授講演



伯川長崎市消防局
予防課長講演



前川長崎市防災
危機管理室長講演



総合討論